



八千代市イメージキャラクター「やちよ」

里山シンポジウム・秋の自然観察会に参加しませんか

市の南部は宅地化が進んでいますが、北部には谷津や里山が広がり、ハイケポタル、オニヤンマなど

自然観察会では、指導員の解説を聞きながら歩きます



ありがとうございました

“社会福祉に役立ててください”と八千代ゴルフクラブ様から、16万7,000円の寄附をいただきました。

希少な昆虫も見ることが出来ます。市では里山^{がっこう}楽校や自然観察会などを行い、谷津・里山の保全を推進しています。今年は谷津・里山と昆虫をテーマにシンポジウムを開催しますので、ぜひご参加ください。

■やちよ里山シンポジウム「里山と昆虫」の参加者を募集 「ぐんま昆虫の森」名誉館長の講演「生きものを見れば生命がわかる」と環境活動団体等の事例報告など。谷津・里山の生き物ネットワークづくりと活用についてディスカッションします。参加無料。先着100人。▶日時 11月2日(土)午後1時30分～5時

▶場所 やちよ農業交流センター

■秋の自然観察会の参加者を募集 やちよ里山シンポジウム「里山と昆虫」のオプションプログラムとして、自然豊かな島田谷津周辺を自然観察指導員と一緒に歩きます。観察会のみでの参加も可。先着20人。▶日時 11月2日(土)午前9時50分やちよ農業交流センター集合。正午同所解散。雨天の場合は中止します ▶参加費 50円(保険料)

●いずれも申し込みは、10月21日(月)までに電話で環境政策室☎483-1151へ

市民伝言板

- 楽描会20周年記念展 デッサン、水彩画の展示。参観自由。10月4日(金)～7日(月)10時～17時(最終日16時まで)、勝田台文化センター。楽描会・飯田☎484-3326
- 高津つくし幼児教室26年度2・3歳児入室説明会 22年4月2日～24年4月1日生まれ対象。10月10日(木)10時から、高津児童会館。大蔵☎080-1066-1670
- 佐藤真子ピアノ弾き語りコンサート「愛と平和をうたう」 10月17日(木)14時30分開演、勝田台文化センター。800円。年金者組合八千代支部・源田☎090-5503-6287
- 健康力向上「スポーツ吹矢一日体験教室」 年齢、性別に関係なく楽しめます。教材費250円。①10月18日(金)13時30分～15時30分、市民体育館。②10月20日(日)13時30分～15時30分、勝田台中央公園小体育館。申し込みは(社)日本スポーツ吹矢協会八千代中央支部・高松☎480-1223へ
- 歴史散歩「新川のほとりを歩く」 新川周辺の史跡を巡ります。10月19日(土)9時村上駅集合、12時30分解散。500円。小学生以下保護者同伴。はがきに住所・氏

- 名・電話番号を書き、〒276-0046大和田新田452-20郷土歴史研究会・鈴木康彦☎459-2506へ。10月10日(木)必着。
- 「ガキ大将の森」収穫祭 野外炊事を体験し、森で遊びます。3歳以上の子と保護者(小4以上は子どものみも可)。10月19日(土)13時～20日(日)11時、ガキ大将の森。1人日帰り1,000円、宿泊1,500円。先着50人。10月15日(火)までにファクスでガキ大将の森の会・宮本☎☎484-6386へ
- どうする?これからの八千代の自然パート2 環境アセスメントについての講演とパネルディスカッション。10月20日(日)13時30分～16時30分、市民会館第3会議室。先着80人。八千代環境市民連絡会・佐藤☎450-8468
- 秋の写生会 江戸崎農業公園「ポティロンの森」で写生。専門の先生が指導。10月20日(日)8時50分、京成勝田台駅北口集合、17時解散(往復バス)。先着30人。雨天中止。2,500円(親子割引あり)、入園料800円別。10月10日(木)までに八千代市美術アカデミー・高木☎458-2559へ
- 社交ダンス無料講習会・全3回 入門者対象。ワルツ、タンゴ、ルンバ、チャチャチャなど。10月9日・16日・23日いずれも水曜日13時～14時、勝田台文化センター。フラワーサークル・沢☎090-6940-0377

会員募集

会員募集は不定期掲載で1団体、年(1～12月)1回のみ掲載となります。今号では、7月28日までに受け付けたものを紹介します。

- カトレア ワード・エクセルを基礎から。デジカメ写真の加工、家計簿・年賀状作成など。第1・3金曜日9時15分～11時45分、勝田台公民館。月2,000円。稲井☎487-1302
- 八千代少年少女合唱団 歌って、踊って楽しいミュージカル・ダンスレッスン。学校教材のCD録音も。4歳～小学生募集。毎週水曜日16時～17時30分、大和田公民館。入会2,000円、月3,500円。同団事務局☎090-1267-5470
- 緑が丘読書サークル 2週間に1冊の本を読み、集まって感想を話し合います。第2・4木曜日10時～11時30分、緑が丘公民館。入会1,000円、月1,000円。安田☎750-0526
- 第二水莖会 書道の上達と親睦。第1・3木曜日13時～15時、大和田公民館。月1,500円。永野☎090-3223-2160
- ソフトテニス「勝田台テニスクラブ」 市内在住・在勤の18歳以上。平日10時～16時、休日8時30分～16時の晴れた日。勝田台第2公園。入会3,000円、年6,000円。野沢☎483-7406
- 大和田剣友会(剣道) 幼稚園児以上。随時見学できます。毎週土曜・日曜日、子ども17時30分～19時30分、成人19時30分～21時。大和田小学校体育館。入会2,000円(小学生から)、月2,000円。山田☎482-6594
- 韓国語入門講座 初心者歓迎。第1・3木曜日13時30分～15時30分、陸公民館。月2,500円。渡辺☎483-3994 / 月曜・水曜・金曜日の夜間
- みどり絵画教室 水彩画、色鉛画の基本から上級まで。女性講師が指導。少人数で和やかです。第1・3金曜日13時～15時、緑が丘自治会館。月2,000円。勝木☎459-1730
- カラオケーション東南 カラオケを楽しみながら、会員相互の親睦を深める。第2・4土曜日18時～21時、八千代台東南公民館。月1,500円。村井☎484-5351
- 社交ダンス「クローバー」 未経験者歓迎。個人レッスンあり。少人数制です。毎週金曜日18時～20時45分、福祉センターほか。月500円。大小原☎090-8842-6694
- 村上陶芸の会 原則として市内在住・在勤の人。電話連絡の上、見学してください。第1・3土曜日9時～12時、村上公民館。入会3,000円、月1,500円。北川☎482-3689
- 一心会(習字) 第2・4水曜日13時30分～15時30分、八千代台東南公民館。月2,000円。伊草☎484-5682
- エアロビクス「ティンカーベル」 無料体験あり。毎週土曜日13時30分～15時、高津公民館。入会1,000円、月1,800円。黒田☎450-6188
- バドミントン「土曜会」 初級・中級者が試合形式で楽しく練習。毎週土曜日9時～13時、勝田台南小学校(偶数週は市民体育館または総合生涯学習プラザ)。体験500円。入会1,000円、月1,500円。伊藤☎481-4081
- ジャンプ アメリカ人講師と一緒に教科書を使って楽しく英会話を勉強するサークルです。初級・中級対象。第1・2・3水曜日19時～20時30分、緑が丘公民館。入会3,000円、月3,000円。村山☎090-1249-2982
- 太極拳同好会 年齢を問わず、誰でも出来る、呼吸を大切にした太極拳です。第1・2土曜日14時～16時、阿蘇公民館。入会1,000円、月1,500円。松尾☎488-5528
- 手話ダンス「ラベンダー」 歌に合わせて楽しく手話ダンス。初心者歓迎。見学自由。第2・4火曜日9時30分～12時30分、勝田台中央公園小体育館。月500円。加藤☎483-7471

リサイクル・ガイド

消費生活センター☎485-0559

●この欄のお問い合わせは消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時まで(午後4時～5時は☎483-1151へ)

【あげます】▶ひな人形(7段飾り、30年前のもの)

▶五月人形(3段飾り)

【ゆずります】▶ベビーベッド(123cm×77cm×105cm)

テレビ 広報 やちよNAVI

八千代の農業
～若手農家たちの挑戦～
J: COMチャンネル(デジタル放送11ch デジアナ変換放送2ch)で1～15日12時、20時30分/各15分間



余生いま気儘に生きてこぼれ萩星飛んで我が身を抱く通夜帰りのホリス持つ工夫日焼けてビル毀つ玫瑰や土手に上がればオホソック滝壺に砕けし水の行方かな行く秋や合掌屋根の草の丈笑栗に朝の光の満ちてをり黒南風やローカル駅の非常ベル流刑地に残る門柱葛の花風の来て光散らせる夕芒合歓咲くや晩年の我母を恋ふ風来れば風に流され萩白し沢音とひぐらし和せる露天風呂柔らかなき母の手偲び胡瓜揉む敬老日昔母似と言はれたる時に身の籠を外して踊かな長き夜や煩悩の渦巡るなり

八千代台西 齋藤 光子
大和田 仲村 快枝
勝田台 廣鹿 一平
八千代台西 六戸 光子
八千代台東 佐々木 静枝
萱町 内池 幸子
吉橋 安原 和子
緑丘 上條 秀元
勝田台 杉本美恵子
八千代台西 山田 笑子
村上場 板倉美智子
下台 大井 友子
勝田台 小泉 惇子
勝田台 青木 滋
大和田 芳賀 博子
勝田台 内藤 四郎

選評 一句目、現役時代は家族や会社のため、一生懸命働いて来て、今は悠々自適の日を送っているが何か物足りない…。庭に目をやると萩の花が零れている。その白さが妙に淋しい。季節の秋は人生の秋でもある。二句目、流れ星にふと恐れを感じて胸を抱いた。身内の方の通夜でもあったのか。「我が身を抱く」で不安と悲しみを表現した。三句目、今は又、建設ラッシュとか、街の風景はほとんど変わって行く。一句を通して力強さを感じるのも、実景を写生し「日焼」と言う季語が健康的な雰囲気をもたらしているからだ。何を句材とするかが大切に、詠む価値のあるものを見つけよう。

やちよ俳壇

490回

小林希世子選



広報やちよは、市ホームページでも見ることができます(PDF版)